

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公表番号】特表2002-527470(P2002-527470A)

【公表日】平成14年8月27日(2002.8.27)

【出願番号】特願2000-576834(P2000-576834)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 31/18

A 6 1 K 31/357

A 6 1 P 25/32

C 0 7 D 493/14

【F I】

A 6 1 K 31/18

A 6 1 K 31/357

A 6 1 P 25/32

C 0 7 D 493/14

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月4日(2003.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

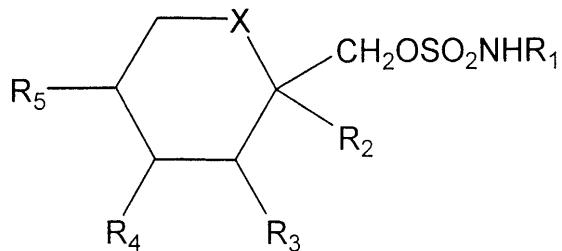
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式I

【化1】



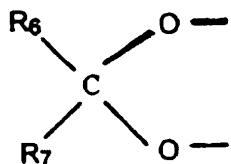
[式中、

XはCH₂又は酸素であり、

R₁は水素又はアルキルであり、そして

R₂、R₃、R₄及びR₅は独立して水素又は低級アルキルであり、そして、XがCH₂である場合は、R₄及びR₅は一緒になってベンゼン環を形成するアルケン基であり、そしてXが酸素である場合は、R₂及びR₃及び/又はR₄及びR₅は一緒になって、次の式(II)

【化2】



(ここで、

R₆及びR₇は同一でも異なってもよく、水素、低級アルキルであるか又はアルキルであって、一緒になってシクロペンチル又はシクロヘキシリ環を形成する)のメチレンジオキシ基であることができる】

の化合物を有効成分とするアルコール依存症、中毒及び乱用を処置するための製剤。

【請求項2】

式Iの化合物がトピラメートである請求項1記載の製剤。

【請求項3】

治療的な有効量として、約32ないし512mgの有効成分を投与するための請求項1記載の製剤。

【請求項4】

治療的な有効量として、約16ないし128mgの有効成分を投与するための請求項1記載の製剤。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

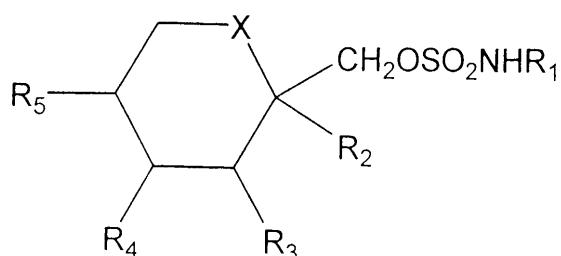
【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【化4】



【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

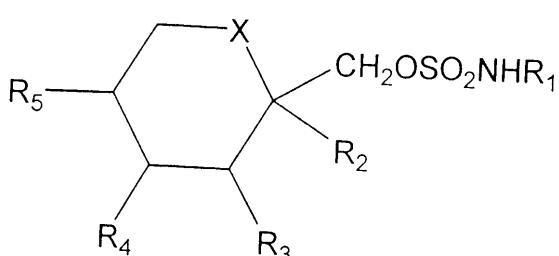
【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【化5】



【手続補正4】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0011**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0011】****[式中、**XはCH₂又は酸素であり、R₁は水素又はアルキルであり、そしてR₂、R₃、R₄及びR₅は独立して、水素又は低級アルキルであり、そしてXがCH₂である場合は、R₄及びR₅が一緒になってベンゼン環を形成するアルケン基であることができ、そしてXが酸素である場合は、R₂及びR₃及び/又はR₄及びR₅が一緒に、次の式(II)**【手続補正5】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0017**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0017】****【化7】**